

(学年) 2 学年、(教科・科目) 国語総合

一斉学習

(単元) 短歌

(本時のねらい)

- ・短歌の言葉について感性や想像力をはたらかせ、表現方法の効果を考え、情景や心情を的確に把握する。
- ・句切れ、比喻など短歌独特の表現技法を理解し、その効果を鑑賞できるようにする。

(ICT 活用方法)

導入 短歌に用いられる表現技法とその効果をまとめたものを、電子黒板に投影させて前時の内容の確認をする。

展開 短歌で使われている言葉と表現技法をまとめたものや写真を電子黒板で投影する。質問事項や解答を投影して、授業のポイントをより視覚化してわかりやすく伝える。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・前時の振り返りをし、本時の目標を知る。	・前時の学習内容を確認させる。	・前時の学習内容である短歌に用いられる表現技法とその効果をまとめたものを電子黒板に投影する。
展開 40分	・短歌に用いられている表現技法とその効果を理解する。 ・短歌で用いられている言葉とその効果について考える。 ・他の短歌での用いられ方と比較することでその表現効果の違いを理解する。	・句切れで生まれる歌のリズムについて考えさせる。 ・使われている固有名詞の持つイメージについて例を示して、考えさせる。	・句切れについてその特徴を電子黒板に投影する。 ・地図や写真を電子黒板に投影する。
まとめ 5分	・短歌に描かれている情景や心情をまとめてワークシートに記入する。	・ワークシートに記入をして、本時の学習について確認させる。	

(授業の様子)



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

これまで資料集やプリントで示してきたものを電子黒板に投影することで、どの資料を提示しているのか生徒に伝えやすく、イメージもしやすくなる。また、板書内容や質問事項・解答を投影することで、今、何をしているのかが明確になり、生徒の理解の助けとなる。指導者の板書時間も短縮されて、生徒の学習活動を観察する時間が増えた。しかし、生徒の思考を深めるのにより適切な場面でICTを効果的に活用するためには綿密な教材研究と指導計画が必要であると感じた。